



(1) 次の計算しなさい。

① $(-13) + (-8)$

答

② $(\frac{1}{6} - \frac{4}{9}) \times 18$

答

答

③ $-4^2 + 7^2$

答

④ $\sqrt{10} \times \sqrt{2} + \sqrt{5}$

答

⑤ $56x^2y \div (-8xy)$

答

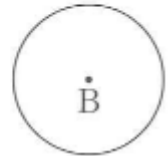
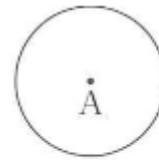
⑥ $6x + 7y - 2(x + 3y - 9)$

答

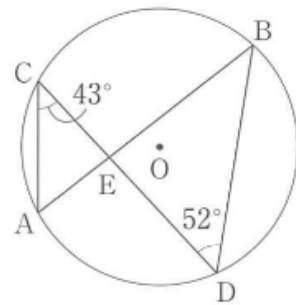
◆(2) 2次方程式 $x^2 - 7x - 18 = 0$ を解きなさい。

(3) 下の図において、円Aを、ある直線を対象の軸として対称移動させると、円Bに重ね合わせることができる。対称の軸となる直線を作図しなさい。

ただし、作図には定規とコンパスを用い、作図に用いた線は消さずに残しておくこと。



◆(4) 右の図において、点A, B, C, Dは円Oの周上の点である。 $\angle ACD = 43^\circ$, $\angle CDB = 52^\circ$ のとき、 $\angle CEB$ の大きさを求めなさい。



答

(5) y は x に反比例し、 $x = -3$ のとき $y = 5$ である。 $x = 12$ のときの y の値を求めなさい。

答

(6) 右の表は、中学生32人を対象に平日1日当たりの読書時間を調査し、その結果を度数分布表にまとめたものである。
このとき、次の①、②に答えなさい。

平日1日当たりの読書時間

読書時間(分)	度数(人)
以上 0 ~ 未満 10	7
10 ~ 20	9
20 ~ 30	6
30 ~ 40	5
40 ~ 50	2
50 ~ 60	2
60 ~ 70	0
70 ~ 80	1
合計	32

① 右の表から、読書時間の最頻値(モード)を求めなさい。

答

② 階級の幅を20分に変えて度数分布表を作り直したとき、読書時間が0分以上20分未満の階級の相対度数を求めなさい。

答

オリセン

正 答

受験にも強い全国No.1*のトライ

(1)	①	-21	(3)	[正答例]
	②	-5		
	③	33		
	④	$3\sqrt{5}$		
	⑤	$-7x$		(4)
(2)	⑥	$4x + y + 18$	(5)	中学受験 $-\frac{5}{4}$
		$x = -2, x = 9$	(6) ①	15分
			②	0.5

